

# 大田区自立支援協議会 だより第16号

平成30年1月発行



【編集・発行】大田区自立支援協議会

【共同事務局】大田区福祉部障害福祉課

【電話】 03-5744-1700 【FAX】 03-5744-1555

大田区立障がい者総合センター 【電話】 03-5728-9133 【FAX】 03-5728-9136

「大田区自立支援協議会」は、障がい児・者の地域での自立した生活を支援するため、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者が参加して定期的な協議を行い、地域での課題について情報を共有し、連携を取りながら、具体的な検討を行うことを目的として、区が設置しています。

## 第2回本会を開催しました <平成29年10月27日（金）実施>

各部会からの中間報告です。

### ●相談支援部会

#### ①個別支援会議

個別支援会議を通じて、現在の相談支援における課題を抽出し検証した。虐待通報があった事例について地域の現状と課題を抽出した。

#### ②課題

これまでの個別支援会議から抽出された課題と、過去に抽出した課題を合わせて検証した。

#### ③おおた障がい施策推進プランへの意見

第4期おおた障がい施策推進プランの進捗状況を確認し、個別支援会議から抽出した地域課題とプランを照らし合わせ、プランに対する意見を部会で集約した。

【後半の課題】大田区の相談支援体制の検証、等



### ●防災部会

#### ①ヘルプカードの見直し

記載項目の追加、ホルダーストラップの変更、障がい者福祉のあらましにカードを追加等を行った。

#### ②公開学習会の開催

9月に学習会「地域での災害に備えて～障がい者の自助・共助を学ぶ～」(講師：鍵屋一先生)を開催。

#### ③大田区総合防災訓練への参加・協力

地域や防災関係者とのつながりをつくり、ヘルプカード・ヘルプマークの周知・啓発を行った。

【後半の課題】福祉避難所開設訓練の検討・準備、避難行動要支援者名簿の確認、等

### ●就労支援部会

#### ①次期おおた障がい施策推進プランに向けて

現プランの進捗点検や評価、検討から、次期プランに反映してほしい内容を整理し、再確認した。

#### ②障害者雇用促進法外や企業就労以外の多様な働き方について

統合失調症の方の、就労とB型の併用について事例報告から検討した。

#### ③障害福祉サービスと介護保険サービスとの関係問題の検証

介護保険・障害福祉サービス・就労支援機関の連携コーディネートを要した事例報告から検証した。

【後半の課題】新しいネットワークの構築、多様な働き方の検討、「就労定着支援事業」に向けての情報共有

### ●こども部会

#### ①それぞれの「現場」を見る・知る

委員の自己紹介シートをもとにお互いをよく知った。また、ゲストスピーカーを招いて話を聞いた。

#### ②ライフステージに応じた相談支援の検討

「出生～就学」「就学～18歳」など、発達に応じた「発達支援マップ」の作成。

【後半の課題】区立小中学校の教育場面との連携、大田区児童発達支援地域ネットワーク会議との連携、等

### ●地域移行・地域生活支援部会

#### ①地域移行部会発足からの取り組みのふりかえり

今後は、部会として合意した課題・記録の明文化をしっかりと行うこととした。

#### ②平成29年度の取り組みの進捗(事例検討)

大田区にゆかりがある知的障がい者の地域移行事例を検討した。

【後半の課題】多様な障害から「戻る仕組み」「支える仕組み」の事例検討を重ねる、等



## 各部会の進捗状況報告

平成 29 年度の大田区自立支援協議会では、

- ①相談支援部会 ②防災部会 ③就労支援部会 ④こども部会  
⑤地域移行・地域生活支援部会の5つの部会が設置されています。

部会で担当する課題、検討経過、研修会やイベントなどご紹介と各部会で目指している方向性など、紙面で順番にお伝えしていきます。

今号では、「相談支援部会」「こども部会」「就労支援部会」の活動をご紹介!!

### 相談支援部会

#### 「地域にはどんな課題があるのか？」



#### 【これまでの地域課題の抽出と実例での検討】

相談支援部会では、これまで個別支援会議を通して、「短期入所施設が区内に少ない」「医療的ケアのある方も利用できるか?」「障害福祉サービスから介護保険利用にあたり、併用は?両者の連携は?」「サービス終了後も相談を継続していくには?」「地域移行のために宿泊体験できる場が少ない」といった地域課題を抽出し、実例で検討してきました。

しかし、このやり方では実例の解決策にとどまり、広く地域課題の解決策を導き出すまでにはいきませんでした。

#### 【平成 29 年度の取組み】

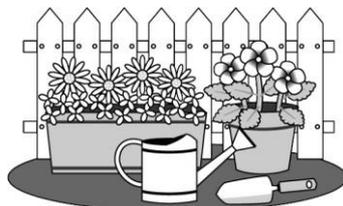
架空事例を用いて、課題についてしっかり検証し、過去の課題とも比較して考証することを行っています。「最近こんな相談がくるようになった」「福祉サービスの利用の狭間でこんなことが起こっている」など、相談支援の現場で“今”起こっていることを取り上げています。また、取り組みの視点として「虐待防止」を掲げています。相談支援の側面から、「虐待(疑い)があったケースにどう取り組んでいくか」また、「その上でどんな地域課題があるか」検討しました。

#### <検討した事例>

作業所へ通所している A さん。作業所は好きで、体調不良以外はほとんど休まず通っていたが、最近休みが目立つ。A さんが作業所に通所した際、体に痣が数か所ある事を作業所職員が発見し、作業所職員と相談支援専門員が相談し、虐待通報ダイヤルに通報した。

このようなケースがあった場合に、相談支援専門員としてどのような関わりが考えられるか?医療との連携は?家族へのアプローチは?使える社会資源はあるか?など、多角的に大田区の現状と地域課題について話し合いました。

地域課題を明確にした上で、どのように解決に向けて取り組んでいくか、その方法のひとつとして、相談支援部会は「おおた障がい施策推進プラン」の進捗状況を確認し、区全体で取り組みが進むように意見を出し合い共有しました。これからも相談支援部会の取り組みに是非ご注目ください。



# こども部会

「こどもが主役！」を合言葉に『情報』と『課題』の共有を積み重ねています

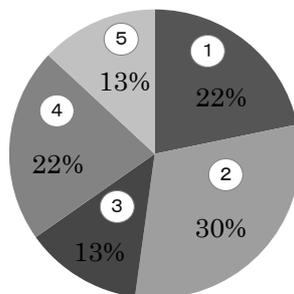
## 【それぞれの「現場」を見る・知る】その1

～お互いをよく知る～

- ・ 自己紹介シートを作成して伝え合う
- ・ 委員からの情報提供を活用

★ お互いを知ることは  
「信頼関係」をつくる第一歩！！

## こども部会委員構成



- ① 特別支援学校教員
- ② 事業者など
- ③ 親の会・PTA
- ④ 区職員
- ⑤ 事務局

## 【それぞれの「現場」を見る・知る】その2 ～ゲストスピーカーに聞く～

第1回 講師：「こあら村」 藤岡 邦子 さん



- ・ 自身の子育ての中で感じた「第3の場所が必要」との思いから、2002年開設
- ・ 子育て広場として親子で自由に来て、自由にくつろぐ場所の提供
- ・ 利用者は未就園児の親子を中心に年間約2200名が利用（有料制）



第2回 講師：「気まぐれ八百屋 だんだん」 近藤 博子 さん

- ・ 「こども食堂」の名付け親
- ・ 「こども食堂」は子どもが一人でも安心して来ることができる
- ・ 様々な悩みを聞いてくれる居場所づくり
- ・ 現在は多世代交流型の地域サロンとしての機能を果たしている



★ 地域再発見！ 大田区にはこんな素敵な「地域コミュニティ」があります



## 【ライフステージに応じた相談支援の検討】～発達支援マップづくり～

「出生～就学」「就学～18歳」など、発達に応じた「発達支援マップ」作りに挑戦！

- ① 出生～就学までのライフステージマップ
- ② 就学～18歳までのライフステージマップ



★ 発達に応じた支援を、部会委員のそれぞれの立場で考えて意見を出し合いました

# 就労支援部会



就労支援部会は障害者就労をめぐるネットワークであるとともに、障害者の就労・自立をめぐる現状の意見交換、具体例の報告などを通して、大田区における障害者の就労（福祉的就労を含む）に関する地域の仕組みについて考え、進めて行く場であると思います。

平成29年度は、平成28年度からの引継ぎ課題として次期障がい者施策推進プランの検討や協議会全体のあり方についての議論を交わしました。自立支援協議会をよりよいものにしてほしいという部会参加者の思いを反映したものとなりました。現場の声、地域課題をきちんと反映できる協議会にしていくための模索を今後も継続していきます。

## 【事例検討について】

### 8月の部会

～就労継続支援B型事業所の利用者がアルバイトで企業就労をしていたため障害福祉サービスの利用が認められなくなったケース～

企業就労の定着支援のためにB型利用が引き続き必要という事業所の判断でした。仕事に慣れるまでという理由で半年は認められましたが、その後不支給となりました。事業所では現在も支援を継続中です。数年前の就労支援担当者会議では、就労継続支援B型とアルバイトの併用が好事例として紹介されていたこともあり疑問が残るという意見がありました。

平成30年4月からは知的や身体の障がいに加え、精神障がい者も障害者雇用促進法上の法定雇用率算定に加わります。また週20時間に満たない雇用形態なども増え、多様な働き方をいかに支援するかについて、今後も継続検討していきます。この事例に加えて、介護保険サービスと障害福祉サービスの自立訓練（機能）との併用についても検討を重ねました。

### 9月の部会

～脳血管性疾患受傷後、高次脳機能障がい（身体障がいとの重複）にて機能訓練を利用し、一度は復職したものの離職してしまった方への再就職支援についてのケース～

障害福祉サービスと介護保険サービスをトータルにコーディネートできる人材が非常に少ないことが明らかになり、人材育成研修が重要であるとの意見がでました。

### 10月の部会

～ハローワークの雇用指導官から法定雇用率の引き上げの取り組みについての説明～  
法定雇用率 2.2%を経て、2.3%への雇用率の引き上げの実現のため、ハローワークだけではなく、大田区の就労ネットワークとして積極的に取り組んでいく必要を感じました。

## 平成29年度大田区自立支援協議会 第3回本会開催のお知らせ

### 大田区自立支援協議会 第3回本会

日時:平成30年3月28日(水)

13時30分～15時45分

会場:障がい者総合サポートセンター5階多目的室

「本会」では「自立支援協議会委員」によって、自立支援協議会としての協議を行っています。年3回公開で開催しています。

第3回本会では各部会の年度末の活動報告を行います。

\*どなたでも傍聴可能です。先着20名